



色覚チヨークを採用すべき／骨髄移植ドナー支援事業

吉本ゆうすけ議員(フォーラム小平)

市立小・中学校に色覚チヨークを採用すべき

質問 ①小・中学校での色覚検査の案内方法は。

②色覚チヨークへの見解は。

教育長 ①小学4年生と中学1年生を対象に検査を実施して...

②色覚に異常のある児童・生徒に見えやすい色合いだが、全体的に色覚異常に対応しているものではないと捉えている。

指導の資料に沿って、白と黄色のチヨークを主体に使い、それ以外の場合は囲みをつけるなど色以外の情報を加えることを引き続き学校に指導していく。

骨髄移植ドナー支援事業を活用しやすいものにするために

質問 ①骨髄移植ドナー支援事業の多摩地区26市における実施状況と奨励金の日数の上限は。

②支援期間を10日間に延長することについて見解は。

市長 ①平成30年4月末現在、26市中20市が実施しており、国分寺市以外の全ての市が、日数の上限を7日としている。

②骨髄採取に要する日数が3泊4日ほどで、前後の手術等に数日要するため7日としたことや多摩地区26市の状況等から、現在は考えていないが市民の要望等確認しながら研究していく。



災害対策のきめ細やかな推進を／小川駅周辺のまちづくり

山岸真知子議員(市議会公明党)

一人一人の命を守る災害対策をきめ細やかに進めよう

質問 ①減災につながるマイ・タイムライン活用への見解は。

②防災備蓄のアンケート調査等を行うなど、市民意識を醸成する方法を検討してはどうか。

市長 ①洪水に限らず家族等でタイムラインを作成することは非常に有意義と認識しており、機会を捉え啓発に努めていく。

②市政に関する世論調査において防災備蓄に関する調査を実施している。今後も調査の機会を捉え実態把握等に努めていく。

③平成30年度は委員33人中5人が女性で、約15%である。

小川駅周辺のまちづくりについて

質問 ①小川駅西口地区市街地再開発事業計画のパネル展は、市民への広報に効果的で今後も拡充して実施すべきだが見解は。

②駅の西口から小川駅西通りへの導線の危険性を指摘する視覚障害者等の声があるが対策は。

市長 ①具体的実施計画は現在ないが再開発準備組合と連携し、丁寧な周知方法を検討していく。

②現状では対策は難しいが、今後も同準備組合と連携を図り、利用者の意見等を把握し、整備計画への反映等を調整していく。



AEDの一層の普及／防災マップを全市帯に／総合体育館運営

竹井ようこ議員(フォーラム小平)

救える命を救うためにAEDの一層の普及と周知を

質問 ①大沼グラウンドにAEDを設置すべきだが見解は。

②船橋市のように、コンビニと提携して設置ができないか。

市長 ①精密機械であることや、盗難やいたずらなどの課題もあり、無人管理の大沼グラウンドへの設置は現時点では難しい。

②情報収集するなど研究する。

小平市防災マップを市内全世帯に届けるべき

質問 ①全戸配布の考えは。

②市報に掲載してはどうか。



花南中体育館に冷暖房設置／生活保護自立支援／児童虐待撲滅

磯山 亮議員(政和会)

花小金井南中学校地域開放型体育館の進捗と冷暖房設備の設置

質問 花小金井南中学校地域開放型体育館に冷暖房設備を設置すべきだが、見解を問う。

教育長 設置や運用に伴うコスト面に課題があるため設置する予定はない。

指定管理者による市民総合体育館の運営について

質問 ①指定管理者の事業報告書を市民に情報提供すべきでは。

②利用料の障害者割引の検討状況は。

市長 ①業務の適正な履行を確認するための資料で、一般に公開する取り扱いをしていない。

②近隣市の情報収集を行う中で課題等を整理し研究している。



市の地域包括ケアシステム／武蔵野団地等のゲリラ豪雨対策

浅倉成樹議員(市議会公明党)

小平市の地域包括ケアシステムについて

質問 ①医療・介護の連携を本気で進めるため医師会等の専門職団体と実効性のあるコミュニケーションが必要だが見解は。

②在宅での医療・介護実現のために多職種連携が必要だが、そのための重要なツールである地域ケア会議は実施されるのか。

市長 ①医師会を中心に地域の医療と介護の関係団体等で構成される在宅医療介護連携推進協議会で、事業実施状況を報告し、課題や改善策等を協議している。

②地域包括支援センターを中心に関係者と困難事例等を情報共有し支援方針を決定する個別地域ケア会議等を開催している。

武蔵野団地及びその周辺のゲリラ豪雨対策について

質問 ①武蔵野団地の雨水排水整備について現在の進捗状況は。

②日立国際電気隣接の東南角の一部区域はゲリラ豪雨時の水害が心配だが、影響のないよう雨水排水経路を設置できないか。

市長 ①平成30年度末には、道路整備計画の全延長に対して約66%が完了する見込みである。

②当該箇所は細い通路形態の土地で、制度上、整備が困難なため隣接土地所有者の事業者に雨水流出の抑制を要請していく。



パワハラ相談機能／公立保育の維持／放課後等デイ改定

細谷 正議員(日本共産党小平市議団)

セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント相談機能充実

質問 ハラスメント全般の防止に関する要綱や、規則を検討してはどうか。

市長 現時点では、ハラスメント全般の防止に関する要綱等を整備する考えはない。

市は公立保育園を維持せよ

質問 ①公共施設マネジメントでの保育園の位置づけと認識は。

②公立ならではの保育があると考え、市の見解は。

市長 ①将来的な少子化傾向を考慮し、2022年度までに4園を縮減する目標である。

②経験年数が長い保育士が多く、他の公的機関との連携が比較的容易で、多くの情報が入りやすいことから豊富なノウハウや情報を保育に生かせる。

障がい児の放課後等デイサービスの改定について

質問 市内事業所への影響は。

市長 一定の要件に該当する障害児が利用定員の半数に及ばないこととなった事業所は、前年度と比較して報酬が減額され、経営に影響が生じる状況になる。

【掲載分以外の質問項目】

○小川駅西口地区第一種市街地再開発事業の市民周知を

用語の解説

※1 エシカル消費とは人や社会、環境に配慮してつくられたものを購入、消費すること。

※2 フェアトレードとは発展途上国の製品等を適正価格で継続的に購入することによって生産者の自立や生活改善を支援すること。

※3 ビオトープとは生物が生息できる生態学的

用語の解説

に見ても良好な環境空間のこと。公園や校庭等につくられた生物の生息・生育環境空間のことをいう場合もある。

※4 マイ・タイムラインとは洪水等の被害が想定される地域で進められている防災の取り組み。台風の接近などに伴う河川の水位上昇の際に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理してまとめたもの。

律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。また、有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



道路の整備にあわせて進められている武蔵野団地の雨水排水整備



改良前(U字溝)